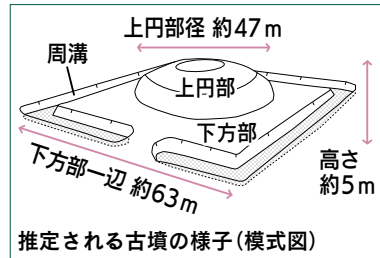


山王塚古墳の年代を探る

山王塚古墳は大塚一丁目・豊田町三丁目にある上円下方墳です。上円下方墳は古墳時代終わりの7世紀後半から8世紀初めにかけて造られた有力者の墓で、確実なものは日本全国で6例しかありません。山王塚古墳は上円下方墳の中で最大の規模を誇りながら、詳細な築造年代は明らかになっていませんでした。しかし、今年7月から10月にかけて行った発掘調査(第三次調査)で重要な手掛かりを得ることができました。



それが左写真の須恵器です。残っていたのは全体の4分の1程で、「平瓶」と呼ばれるお酒を入れるための器です。小ぶりの胴、強く張った肩、短めの首など7世紀後半に作られた器の特長を持っています。出土したのは埋葬施設である横穴式石室の前の石敷きで、埋葬の時に死者に供えられた土器の一つと考えられています。また、青黒い



肌と深緑色の自然釉などから猿投窯(愛知県名古屋市中心部)で焼かれたものと推測されます。

この発見で全国最大の上円下方墳築造の謎の解明に、また一歩近づきました。



金魚草

日でも春のように暖かく、色とりどりの花はまるで金魚がふわふわと泳いでいるように見えます。交配により新色の栽培を試みて、従来より淡い色合いの花を咲かせるなど、常に今よりも良いものを作ろうとしている内田さん。「きれいな花が咲くと、とてもやりがいを感じますね」と話してくれました。

川越産の花は、伊佐沼農産物直売所などで購入できます。地元で育った花を自宅に飾ってみませんか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜

ダイコン、カブ、ホウレンソウ、サトイモ、チンゲンサイ、ブロッコリー、コマツナ、ミズナ、ネギ



ホテルのロビーなどで金魚草を見たことはありませんか。桃・

白・黄色などの花をつけ、花持ちがよく香りも控えめで室内に飾る花として人気があります。本来は春に咲く花ですが、川越には花が少なくなる冬場にハウス栽培をしている農家があります。



内田光夫さん・和子さんご夫妻(北田島)は種をまく時期をずらしたり、土に埋めたチューブからオゾンを含んだ水を出したりするなどの工夫をして冬場に出荷しています。ハウスに入ると寒い



ライトアップを楽しむ親子 (11月5日撮影)

11月12日、河越館跡で河越流鏑馬が行われました。全力疾走する馬と、その上から射手が矢を放つ様子は迫力満点。的が射抜かれるたびに湧き上がる拍手と歓声が、爽やかな秋晴れの空に響き渡っていました。

河越流鏑馬が行われた前の週、11月5日と6日には食と音と灯りの融合 Kawagoe REMIX が行われました。このイベントで行われた一番街などのライトアップの一部は12月25日(日)まで、大正浪漫夢通りのイルミネーションは来年1月15日(日)まで楽しめます。これからやってくるクリスマスシーズンにぴったりの「灯り」。ぜひ出掛けてみてはいかがでしょうか。

編集後記
どんぐり